

第8章 森林・山村多面的機能発揮対策の手引きの改訂案の作成

8-1 改訂の概要

本交付金は、モニタリング調査の導入や、活動対象地における安全講習の義務化など、平成29年度に大きな改正が行われた。平成29年度時点での最新の手引きは平成27年4月版であった、最新の情報に合わせる形で、手引きの改訂を行った。

具体的な改訂の内容は以下のとおりである。

- ・ 基本的には、既存の手引き（平成27年4月版）をベースとして、平成27年度以降の本交付金の変更事項を反映した。
- ・ 平成27年4月版で存在していた誤字脱字等は修正した。
- ・ 利用者が目指す内容を探しやすくするため、章番号に加えて、節番号（1-1、1-2・・・）を追加した。
- ・ 平成28年度から教育・研修活動タイプがサイドメニュー化したことに合わせて、関連する記述を修正した。
- ・ 平成29年度から本交付金事業において、モニタリング調査が導入されたことを踏まえて、7章に「活動成果の調査・確認方策（モニタリング調査とは？）」を追加した。
- ・ 平成29年度から本交付金事業において、安全対策面で傷害保険への加入の義務化、安全講習の実施の義務化といった交付金の採択条件の変更がなされたことを踏まえて、8章に「活動に当たっての注意事項（安全対策で気をつけることは？）」を追加した。
- ・ 特に、新規に追加する安全対策については、活動組織への周知が必要であると考えられることから、活動組織にとって分かりやすいように、視覚的なイメージを重視し、安全装備や服装に関するイラストを挿入した。

8－2 具体的な修正内容

平成 27 年度 4 月版をベースとしながら、手引きの改訂案を作成した。改訂案における具体的な修正内容のうち、主なものは以下のとおりである。

章	ページ※	内容
1. 森林・山村 多面的機能発 揮対策のしく み	2 ページ	教育・研修活動タイプのサイドメニュー化に合わせ、事業概要の図を修正
	4 ページ	活動タイプ別の交付単価を平成 29 年度の改正に合わせて修正
	5 ページ	交付金活用のステップに関する図について、「モニタリング調査」と「安全対策の実施」を追加
	6～7 ページ	トピックのアンケート結果紹介を平成 25 年度アンケート結果から平成 29 年度アンケート結果に修正
2. 対象地域と 参加者の決定 (どこで、誰 と?)	10 ページ	「Q001 自分の住む市町村の森林はすべて森林経営計画の対象となっています。この場合は、この交付金を活用することはできないのですか?」について、教育・研修活動タイプのサイドメニュー化に合わせて記述を修正
3. 活動内容の 話し合い(ど のメニューを 活用する?)	12～15 ページ	活動タイプについて、メインメニューとサイドメニューの区分を追加
4. 地域協議会 へ申請(書類 の書き方はど うするの?)	25 ページ	「森林簿・森林計画図関連情報源リスト」を更新
	28 ページ	「各地域協議会連絡先一覧」を更新
	29 ページ	「都道府県 事業担当課連絡先一覧」を更新

章	ページ※	内容
5. 交付金の決定（何がポイント？）	36 ページ	「Q018 人件費、燃料代、交通費が支払い対象となる活動はどのようなものですか？活動タイプ別の基準がありますか？」をメインメニューとサイドメニューに区分
6. 活動開始（記録はどうやって残しておく？）	38 ページ	モニタリング調査についての記述を追加
7. 活動成果の調査・確認方策（モニタリング調査とは？）	47～49 ページ	「森林・山村多面的機能発揮対策交付金 モニタリング調査のガイドライン-改訂版（案）-」に基づき、新規追加
8. 活動に当たっての注意事項（安全対策で気をつけることは？）	50～54 ページ	安全講習の実施の義務化等を踏まえ、新規追加（作業時の服装や安全装備については、イラストを用いることで、視覚的な側面からの理解にもつながるように配慮）
9. 実施状況報告（報告書の書き方は？）	55 ページ	平成 29 年度の制度変更に合わせて提出様式に「様式第 19 号 平成〇年度 モニタリング報告書」を追加

※ページ番号は改訂案に基づく